

長崎国際大学大学院

人間社会学研究科 観光学専攻

2026 年度 春季入学試験 後期日程

論述試験問題

注意：問題は、必須問題と選択問題に分かれている。必須問題は、受験者全員が必ず解答し、選択問題は、6 語句のうち 3 つを選んで解答しなさい。なお、解答はいずれも別紙の解答用紙に記述すること。

問題 1（必須問題）

2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博：Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan）が、2025 年 4 月 13 日から 10 月 13 日の 184 日間にわたり大阪市此花区夢洲で開催された。「万博」は世界中から多くの人やモノが集まるイベントで、地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界各地から英知が集まる場である。

1970 年、日本（アジア）で初の国際博覧会（大阪万博：EXPO' 70）が開催され、日本の高度経済成長を象徴する一大イベントとなった。2005 年の愛知万博に続き 20 年ぶりに開催された大阪・関西万博の最終的な総来場者数は 29,017,924 人で、このうち一般来場者数は 25,578,986 人、関係者（スタッフ・メディア等）は 3,438,938 人であった。当初目標としていた 2,500 万人を大きく上回り、運営収支も大幅な黒字を確保した。一般来場者数は、2005 年の愛知万博の来場者数 22,049,544 人を約 15.8% 上回る結果となった。6 月 28 日の花火大会では 184,990 人、7 月 12 日のブルーインパルス飛行では 171,509 人、会期末近くの 2025 年 10 月 12 日には、単日来場者数最多の 248,002 人を記録した。

この成功の背景には、綿密に計画されたイベント戦略と、最新技術を活用した来場者体験の向上があったとされる。

問 1 一般来場者数が愛知万博を 15.8% 上回った要因を国際観光市場の変化、交通・アクセス、情報発信や観光環境整備などから 300 字程度で説明しなさい。回答には以下の語句を 2 つ以上使用すること。

訪日外国人旅行者・インバウンド需要・シャトルバス・SNS・公式アプリ・リアルタイム情報・滞在型観光

問 2 10 月に来場意欲が高まり、来場者数が急増した理由を説明しなさい。（100 字）

問 3 大阪・関西万博の成功は、今後の大阪にどのような影響を与えると予測されるか 200 字程度で説明しなさい。回答には以下の語句を 2 つ以上使用すること。

国際的観光都市・インバウンド誘致力・観光 DX・DMO・広域周遊ルート・データ活用・経済波及効果

問題 2（選択問題）

次の①～⑥までの語句のうちから 3 つを選択して、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① 文化財デジタルアーカイブ
- ② 民族とエスニシティ
- ③ ユニークベニユール
- ④ インタープリター
- ⑤ 博物館情報メディア
- ⑥ 生涯スポーツ